

■特別セッション

問題生態系計測研究会 特別セッション 2025:

リモートセンシングで探る世界の問題生態系－課題と展望

Special Session of the Research Group for Problematic Ecosystems Remote

Sensing 2025: Exploring the World's Problematic Ecosystems through Remote

Sensing – Challenges and Prospects

1) 日時・場所:

6月4日(水) 15:10～16:40(90分) A会場

2) 司会:

島崎彦人(木更津高専, RSSJ 問題生態系計測研究会 幹事)

3) 概要:

本特別セッションでは, リモートセンシングによる生態系モニタリングの最前線を紹介します. 書籍『世界の生態系で何がおきているのか? –リモートセンシングで探る世界の問題生態系』の著者や若手研究者が, 最新成果や進展を報告し, 生態系の現状や変化を捉えるリモートセンシングの可能性と課題を議論します. 生態系の動態や環境問題に関心のある皆様にとって, 有意義な情報共有と意見交換の場となることを目指します.

4) プログラム(発表15分, 質疑応答5分):

○井上吉雄(東京大, RSSJ 問題生態系計測研究会 会長)

趣旨説明

○山野博哉(東京大・国環研)

リモートセンシングでとらえるサンゴ礁のプロセス

○作野裕司(広島大)

海洋・湖沼生態系に関するリモートセンシング研究の動向

○山北剛久(JAMSTEC)

深層学習を活用した, アマモ場・藻場の分布抽出の可能性

○佐久間東陽(木更津高専・国環研・東京大)・山野博哉(東京大・国環研)・村上進亮(東京)・
角谷拓(国環研)・中島謙一(国環研)

リモートセンシングを用いた鉱山採掘による陸域生態系への影響評価

○岡本遼太郎(国環研)

地上ベースリモートセンシングによる高山生態系の高頻度観測